

令和4（2022）年度

地域学校協働活動推進員養成研修⑤ 実施報告

実施日：令和4（2022）年10月12日（水）

本研修は、「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」事業の一環として行われました。地域学校協働活動推進員としての資質向上を目的として、全5回の内容で実施されました。

第5回は、「地域情報収集のポイント」について確認し、受講者自身が主体となって事業を計画・立案して活動を進めていけるようにすること、そして、研修全体を振り返り、次の1歩をどう踏み出すか考えることをねらいとして研修を行いました。

演習「地域学校協働活動の企画・立案」

総合教育センター職員



本演習では「地域情報の収集・活用」をテーマに、どのようにすれば地域情報を収集・活用できるのかについて学び、それらの情報を基に地域学校協働活動を企画・立案し、形作っていくポイントについて確認しました。

最初に、第4回で学んだことを復習し、どのような視点で地域学校協働活動を計画すべきかを振り返りました。そこで、地域・学校・子どもを取り巻く多様な主体の存在があり、それらが「つながる」ことが重要であること、「つなぐ」ためには日々の対話の積み重ねが必要であることをおさえ、対話のポイントを確認しました。

次に、「子どもたち」や「地域」の現状を見つめて、課題を見出し、それらに基づく理想の姿を考えました。そして、その姿に近づくために自分たちができることを具体的に考えました。各受講者とも様々なアイデアを出しながら取り組んでいました。その様子からは、自分たちの地域をよりよくしたいという受講者の熱い思いが伝わってきました。

後半は、前半の演習でそれぞれが考えた自分たちができる活動の一つ抽出し、実際に事業を計画するワーク



ショップを行いました。事業を計画するポイントをおさえた9マスワークシートを活用し、受講者ごとに事業立案を進めました。その後、グループ内で共有し、それぞれの計画についてアドバイスをし合い、情報交換するなどして、計画をブラッシュアップしていきました。受講者は、計画する際のポイントを押さえただけでなく、1人の力だけではなくて多様な人の関わりで企画・立案することで計画が充実していくことも感じ取ったようでした。

講話「これからの地域学校協働活動の在り方」

作新学院大学女子短期大学部 教授 青木 章彦 氏

青木氏は、環境教育・幼児教育・環境保全が御専門で、栃木県社会教育委員会議の議長も務められています。また、NPO わたらせ未来基金の理事長もお務めで、近年、渡良瀬遊水地でコウノトリが繁殖活動を始めておりますが、これはまさに青木氏を中心とした方々の取組の成果です。地域学校協働活動においても、その概念や活動の在り方について深い見識があり、教育や活動の経験に基づく知見から、本研修全体のまとめしてお話いただきました。特に、地域学校協働活動をどのように考え、子どもたちや地域にどのような活動を提供していくかについて、体験活動を切り口にお話しいただきました。



青木氏は、地域学校協働活動をよりよいものにしていく一手段として、「関係する主体との連携すること」と「豊かな体験活動を提供すること」の2点を挙げました。地域にある多様な主体とつながり、自然・生活・文化・歴史などに関する様々な体験を通して、子どもと大人が交流を深めながらともに学ぶことで地域づくりが進み、持続可能な地域へと変化する好循環を生み出せるとお話しいただきました。特に、体験活動を提供する際には、体験させるだけではなく、体験を通して何を学ばせるのか意図を持って活動を計画することの重要性について強調されました。また、栃木県で平成13年度から展開している「ふれあい学習」についてもふれられ、既に展開している幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を生かして、充実した活動にしていくことも大切であるとお話しいただきました。受講者は、青木氏の講話を基に、地域・学校に戻ってどのように活動していくか、具体的に考えを深めているようでした。



全プログラムの終了後、閉講式および修了証授与式を行いました。「学校を核とした地域づくり」を進めていくために必要不可欠なのが「地域学校協働活動推進員」です。「地域とともにある学校づくり」と一体的に推進し、受講者の皆様に関わっていただくことで、地域づくり、学校づくりが充実していきます。

受講者皆様の御活躍をお祈りしております！

全5回の研修、大変お疲れ様でした。

【受講者の感想から】

- 自分の目で見たり感じたりしたことだけでなく、他者から見た情報も合わせていくことで、新しい可能性や手法が出てくると感じた。
- 活動においては、目的を明確にし、参加者で共有して実施することで、本来の目的を達成できると感じた。
- 楽しさの中に学び、さらにはそれだけで終わらない活動を考えていけたらと思う。
- 体験活動のみではなく、気づきが分かるように進めていく大切さを学んだ。
- 複数回の研修だからこそ顔なじみになれて、情報交換できたことがよかった。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp